

2番 柴立 豊子 議員

1 能登半島地震の教訓について

- (1) 避難所の整備について、特に女性に配慮した避難設備がこれまでの災害でも言われてきたが、これまでどのような改善がされているか。
- (2) 段ボールベッドなど、備蓄されているが、使い方には基準があるか。
- (3) 分散備蓄が教訓となったが本市ではどのようになされているか。
- (4) ライフラインが壊滅的被害を受け、復旧にかなりの時間を要している。人手不足が深刻だといわれている。本市には自衛隊基地があるが、非常時の連携はとれているか。

2 誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて

- (1) 孤独・孤立対策推進法が4月1日から施行される。具体的な取組はどのようなことが予定されているか。
- (2) 重層的支援はどういう内容か。
- (3) 高齢化が進む本市において、高齢者支援も必要と考える。高齢者の孤立を防ぐには居場所づくりが必要と思われるがどうか。
- (4) 第9期介護保険事業計画改定の中で、国は訪問介護報酬引き下げの方針を出している。このことにより小規模事業所の経営不振による廃業が予想される。そうなれば高齢者が介護サービスを受ける機会が減少する可能性が出てくる。本市としてどのようにカバーしていくのか。